

## 「児童生徒を支援する力を高める校内研修に関する研究」(第二年度)

～教育相談的な手法を生かした「校内研修実践資料(小学校版)」の開発を通して～

発表 E	福島県教育センター	指導主事	渡部 修一
発表 F	福島県教育センター	長期研究員	森藤 雅之
	須賀川市立稲田小学校	教諭	渡邊ひろみ

### 1 研究の趣旨

本研究の目的は、児童生徒を支援する力を高める校内研修に関して、校内研修実践資料の考案と普及を通して、教員の児童生徒を支援する力を向上させることにある。

児童生徒を支援する力を高めることは、教員一人一人に恒常的に課せられた責務であると同時に、教員集団が組織的に取り組むべきものである。しかし、社会状況や子どもが変化・多様化する中、学校における生徒指導・教育相談に関する教員の力には個人差が見られ、一方、校務の多忙化などもありこれを組織的に高めていく状況は厳しい。そこで、教育相談チームでは教員個々の力量向上と教員集団の組織力向上の機能を併せ持つ校内研修に着目し、教員が児童生徒を支援する力を個人かつ組織として高めていけるよう昨年度より研究を進めてきた。

平成23年度は、平成22年度に教育相談チームが実施した「教員のメンタルヘルスに関するアンケート」の調査から、生徒指導力や人間関係を円滑に結ぶスキル等を身に付ける必要性、教員集団が組織として機能することの重要性を確認できたことを受け、児童生徒を支援する力を高めるために必要な教員の力(スキル・態度)を選定し、選定した力を効果的に高めていくための校内研修実施案(講義案、配付資料、プレゼンテーション資料)を考案した。そして、それをもとに研究協力校等において校内研修を実施した結果、校内研修に満足感をもち協働性の高まりが見られるなど一定の有効性を確認することができた。

今年度、本研究では、児童生徒を支援する力を高めるために必要な教員の力の分析を進め、学校において教員自らが研修を進めて児童生徒を支援する力を高めていく実践資料(実施・進行案、演習資料等)づくりを行う。また、研究の成果については校内研修実践資料集としてまとめ、各学校等への普及・啓発を図っていきたい。

### 2 研究の概要

(1) 教員自身が児童生徒を支援する力を高める研修についての理論研究及び実施・進行案の考案

- ① 児童生徒を支援するために必要な教員の力の構成内容の分析 E: 概要説明 F: —
- ② 研修を進める教員側に立っての校内研修実施・進行案の考案 E: 概要説明 F: 実物紹介

(2) 研究協力校(小学校)における実践と検証

- ① 研究協力校における校内研修実践資料の検証と修正 E: 概要説明 F: 動画と進行者の話
- ② 校内研修を実践につなげるための研修だよりの発行 E: 概要説明 F: —
- ③ 校内研修の有効性を検証するアンケート調査の実施 E: 概要説明 F: 結果紹介

(3) 児童生徒を支援する力を高めるための校内研修実践資料の普及

- ① 校内研修実践資料(小学校版)の教育センターWebサイト掲載 E: 概要説明 F: Webサイト紹介
- ② 校内研修に関するアンケート調査の実施と啓発資料としての活用 E: 概要説明 F: —

### 3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ① 「児童生徒を支援するために必要な教員の力」の分析を行い、校内研修実施・進行案を考案することができた。
- ② 「校内研修実践資料(小学校版)」を活用し、教員が進行者となって満足度の高い校内研修を行うことができた。
- ③ 検証と改善を行った「校内研修実践資料(小学校版)」をWebアップできた。

(2) 課題

- ① 「校内研修実践資料」を活用してもらえるよう、PRや普及に努めていく必要がある。
- ② 学校が「校内研修実践資料」を活用する際の疑問点にどのように応えていくのか、どこまで支援していくのか、提示していく必要がある。